

七高同窓会だより

第35号

最新版同窓会会員名簿（平成26年版）が発行されました

七尾高校

平成26年 七尾高校同窓会のご案内

日時 9月21日(日) 総会 11時より
懇親会 12時30分より
場所 和倉温泉「あへの風」 TEL0767-62-3333
申込/問合せ 同期の理事・評議員または七尾高校同窓会事務局まで

第20回 七高同窓美術会展

会期 9月20日(土)～23日(火・祝)
会場 フォーラム七尾(七尾駅前・パトリア4F)

■目次

ご挨拶	2
七尾高校同窓会総会・懇親会	3
地区同窓会活動状況・役員一覧	4
叙勲・七尾高校同窓会役員	12
期別同窓会開催のご報告	13
大林重治氏インタビュー	19
母校は今	20
運営協力金	22
26年度の同窓会開催予定	24



ご挨拶

春の訪れはいくつになっても心をときめかせ、ウキウキさせるものがあります。これは日本人が一番好きな花である桜が開花する時期であるということ、卒業そして新入学あるいは新社会人になるなど人生における節目の時期であり将来への希望に胸がふくらむからでありましょう。また自分がその当事者でなくてもそういう人達を眺めているだけで我が事のように嬉しくなるものです。

「生きる力」とは将来に希望を持つことであり、明日があるからこそ今日を頑張れるのだらうと思えます。

私は、昨年9月の本校同窓会総会において会長を仰せつかりました。高二六期卒の若輩であり、会長職という重責に耐えられるかいささか心もとないのですが宜しくお願い申し上げます。

私も母校を卒業してちょうど四十年経ちました。私共の高校生だった頃と今の生徒を比較してみると、今の生徒の方が私共の頃よりもよく勉強しているのではないかと感じています。それはひとえに生徒の学習意欲の高さにあるのは勿論ですが、それをバックアップしている先生方のご尽力が大きいのではないかと思えます。

本校に入学してきた頃は県内の他の進学校に比べて決して偏差値が高いとはいえない生徒達が、その後どんどん学力をつけてきているということは、都市部の生徒にくらべて中学時代にのんびりしていた分高校へ入ってから「のびしろ」が大きかったということもあるかと思えますが、それも先生方の昼夜を分かたないご指導のおかげだと感謝しております。

また、新校舎になってからの環境整備は素晴らしく全館冷暖房完備のもと最高の環境で学習できるのも学力向上に大きく貢献しているのではないかと思います。そしてその支援に同窓会の皆



ご挨拶

同窓会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜りお礼申し上げます。

昨年度は本部同窓会をはじめ関東、関西、中京…と合計9地区の同窓会にお招きをいただきました。それぞれ趣向を凝らした内容と進行で地区ごとのカラーが打ち出され、楽しい時間を過ごさせてくださいました。同窓会の皆様方からは一様に高校時代の思い出話とともに七尾高校に対する熱い思いを語り、今後のますますのご支援を表明してくださいました。実際に、同窓会からは海外研修（SSH事業でシンガポールへの研究交流活動、NSHの取組でロンドンへ海外研修）に対する支援、賞典ケース寄贈、部活動上位入賞者顕彰の立て看板設置、さらに海外研修に役立ててほしいと3名の方々が合計300万円、旧中学同窓生から300万円相当の電子掲示板一式、

同窓会長 山口 成俊 (高26)

様から頂戴した貴重な「運営協力金」を使わせて頂いております。誠に有難うございます。

今後、過疎化・少子化が進むこの能登の地域において生徒数の確保そして学力レベルの維持は非常に難しいことが予想されますが、そうした中でいかに特色ある校風を持ち独自性と自立と進取の気概を持った生徒を育てられるかがこの能登という片田舎で本校が存在価値を維持できる判断材料になるのではないかと思います。

幸いにしてこの地は自然に恵まれ、生徒が雑音にとらわれることなく勉学に打ちこめる環境にあります。この利点を活かして学力はもちろんのことスポーツにそしてSSH（スーパーサイエンスハイスクール）や、新設された文系フロンティアコースなど特色あるカリキュラムで幅広い人材教育のできる学校であってほしいと願っています。

世の中がグローバル化しITの発達などで情報の量とスピードがけた違いに増加しそれに翻弄されている毎日です。将来、今の時代はあの「産業革命」に匹敵する「情報革命」の時代に突入した時代だったと言われるのでしょうか、そういう時代だからこそデジタルでなくアナログ的な感覚・感性も却って必要とされるのではないのでしょうか。いかに科学が発達し情報のスピードが速くなるうとも人の心というものはそれほど変わるものではなく、そうであればだんだん時代のスピードについていけなくなつたとい嘆いている我達卒業生が現役の高校生にしてあげられることも出てくるのではないかと思います。

終わりに、全国津々浦々でご活躍の同窓生の皆様がいままでご健勝で幸多かれとお祈りし、今後益々の同窓会へのご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

校長 福島 則明

野球部や創設したばかりの女子サッカー部を応援したいと金一封をお持ちくださる方々が続出…と数え上げればきりがありません。恐縮至極の思いであります。

そのような期待を背負って生徒たちは学習と部活動を両立させて輝かしい成果を残しております。今春の大学合格実績のなかには東大や京大をはじめ、32年ぶりの快挙となる金沢大学医学部に現役3名の合格や、弁論部が団体として全国優勝、個人では文部科学大臣賞を受賞等々。磨けば光る玉を預かり、私たち教職員は「生徒の目線に寄り添う」を合い言葉に今後もますます精励格闘してまいります。同窓の皆様方から一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後にありますが、同窓会組織がさらに堅固な絆で結ばれ、会員の皆様ますますご健勝にてご活躍なさいますことを祈念申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

七尾高校同窓会総会・懇親会

大林重治会長（高13）から 山口成俊新会長（高26）へ



総会 大林会長挨拶

を期待するご挨拶がありました。

福島明中学校長からは、昨年度新設された普通科文系フロンティアコースの二年生40名が10月にいよいよロンドンへ研修に行くことなど母校の近況についてのご紹介と、同窓会からの支援に対するお礼のご挨拶がありました。

役員改選では、山口成俊新会長（高26）をはじめとする新役員体制が承認され、各役員が紹介されました（P12参照）。

懇親会は12時30分、平見夕紀氏（高43）、林寿嗣氏（高48）の名司会者二人による開会宣言により幕を開けました。朽木明暁氏（高9）の尺八に合わせて亡くなられた会

平成25年度七尾高校同窓会総会・懇親会は9月22日（日）、七尾市和倉温泉「あえの風」で開催されました。県内外から350名の同窓生が集い、旧交を温め、母校のさらなる発展を誓いました。今回も、総会に先立ち、各地区同窓会の連絡協議会がもたれ、同窓会活動活性化策等について意見交換をしました。

総会は11時から大橋覚議長（高7）の進行により行われました。

二期四年間にわたり会長職を務め、この度の役員改選で退任する大林重治会長（高13）からは、同窓会運営協力金等への感謝の言葉と、母校の活動支援強化への協力をお願い、新体制のもと創立120周年に向けてさらなる発展



新旧バトンタッチ



吹奏楽局

員の皆様への黙祷の後、男子バスケットボール部員が登場し、同窓会発展の思いを込めて各地区同窓会役員の名前がコールされました。

大林同窓会長、福島中学校長のご挨拶に続いて、来賓として歴代学校長の佐々木弘明先生（高5）、西村孝之先生（高12）、三浦光雄先生（高16）、八十田至先生（高20）、山本登紀男先生（高23）や同窓会顧問の堀昭七郎氏（高3）、佐原吉博氏（高7）、10ある各地区同窓会からご出席の皆様のご紹介の後、代表して杉本勇壽金沢地区合同同窓会会長（高3）のご発声で乾杯をしました。

その後、叙勲の榮に浴された横山文男氏（高8）、中村純一氏（高11）のご紹介およびご挨拶、公の場でご活躍の同窓生の紹介がありました。

中西文江氏（高40）らによる民

謡民舞、高13回生への最多参加賞贈呈、同期や先輩後輩との懐かしいお話等で盛り上がる中、プログラムは後半へと移って行きました。吹奏楽局による創立100周年記念讃歌『未来（あした）』の演奏、吹奏楽局の伴奏で高等女学校校歌の斉唱、そして、同窓生の旗振りと吹奏楽局の演奏で、全員が起立して恒例の七尾高校校歌・平常歌の斉唱をし、会は最高潮に達しました。

最後は、退任される大林会長、中浜耕平監事（高13）、大橋議長、姥浦昭二副議長（高11）への花束贈呈と山口成俊新会長（高26）の母校及び同窓会のさらなる発展に向けたご挨拶で、懇親会は幕を閉じました。来年は9月21日（日）に今回と同じく和倉温泉「あえの風」を会場に開催を予定しています。



バスケット部エール



総会に出席の皆様



懇親会 大林会長挨拶



総会 新役員紹介

関 東 同 窓 会



関東同窓会 会長 木下 嘉平 (高15)

ご 挨拶

同窓生の皆様、お元気でご活躍の事とお慶び申し上げます。

昨年の関東同窓会は、総会前に「長谷川等伯」で直木賞を受賞された、作家安部龍太郎先生をお招きして講演会を開きました。等伯の人間性やその時代に触れられ、歴史、時代小説一筋に打ち込んでこられた先生ならではの造詣の深さに感動、等伯を育んだ七尾に参加者が魅了された一時でした。講演後は恒例の総会・懇親会参加者は200名を超える盛会となりました。また、当日は新学校長並びに各地区同窓会役員の方々もお越しいただき華を添えていただきました。年間活動は、一昨年より開催した、ウオーキング部会は6月、約100種1万4千株もの花菖蒲が咲き誇る水元公園より江戸川堤を下り人気映画(寅さん)の舞台になった葛飾は柴又を巡りました。12月、明治神宮参拝とパワースポット「清正井」を見学し紅葉彩るマイナスイオンたっぷりの神宮の杜を散策致しました。相撲観戦部会は9月場所、春日野部屋千秋楽打ち上げパーティに出席、関取と楽しいひと時を過ごしまし

た。ゴルフ部会(春秋会)は5月第51回大会・鶴舞カントリークラブ、11月第52回大会・山田カントリークラブで、四季の鮮やかな景観と爽快感を味わいながらのプレイを楽しみました。今年度も引き続き同窓会縦横の「絆」作り部会行事を進めてまいります。会員の皆様の参加をお待ちいたしております。さて、当会も次年度(平成27年)は第50回記念総会を迎えます。昨年末大会準備会を設置いたしました。会員皆様からの記念大会にふさわしいご意見をお受けいたしております。昨年度、母校野球部を夢の舞台、甲子園へのメッセージを発信いたしました。全国同窓生の皆様、母校に厚いエールを送って頂くよう私から再度お願いいたします。合言葉は『母校創立120周年に甲子園出場を目指そう』です。最後になりましたが、関東同窓生の皆さん、年に一度、校旗の下で校歌を歌い、青春時代の思い出を語りませんか。6月第4土曜日お待ちしております。

「同窓会に参加して」

津田 栄 (高25)

6月22日第48回関東同窓会が開かれ、200名近くの先輩後輩の男女が参加しました。懇親会前に「等伯」で直木賞を受賞された安部龍太郎先生の講演があり、皆さんは、長谷川等伯を育てた能登七尾の素晴らしさ、そして誇りを感じていたようです。懇親会に入ると、一斉にあちこちのテーブルで、

懐かしい顔、元気な姿を見つけて、お酒をやり取りしながら談笑する風景が見られ、いつもの楽しい同窓会になったと思えました。最後に校歌を歌い、また来年同窓会で会おうという会話を交わし、皆さん会場を後にしていきました。

「関東同窓会との出会い」

三吉佐和子 (旧性六坂) (高39)

2年前、地域の石川県人会から初めて石川県人祭に参加しましたが、テーブルには七尾関係の人がいなく会話を詰っていた所「七尾」の文字のプレートが目に入り、一緒に居た友人と挨拶に伺ったのが七尾高校関東同窓会の皆様との交流のその始まりでした。

それから、ほどなく幹事にも入れて頂き皆様と様々な交流をさせて頂く中で、先輩方には本当に親身に優しく接していただきました。それまでは想像すらなかったけれど今では、私の中の最も大切なコミュニティのひとつとして位置づけられています。お世話になるばかりではなくお役に立てるよう、できる範囲ではございますがこれからもお手伝いさせていただきます。思っています。夢は参加したくなる同窓会全国ナンバーワンと言われる会になればなあと思っております。若い子が私も我もと押し寄せてそれを先輩方がニコニコと見守る、そんな妄想をしつつペンを置きます。

関 西 同 窓 会



関西同窓会 会長 勘山 悟 (高9)

ご 挨拶

同窓生の皆様、お元気で御活躍のこととお喜び申し上げます。

関西同窓会は昨年、第31回目を5月19日に、関西文化サロン(阪急グランドビル)で開催致しました。案内状の他に約200人の方々に「お誘いメッセージ」を、役員が手分けして、したためてみました。その効果もあつたのでしょうか、これまでの記録をはるかに上回る130名という参加者で、急きょ別室を設け、なんとかか会を終えることが出来ました。130名の中には、七尾からのうれしい有志5名(9期生)が含まれています。

今春の関西同窓会は、5月18日に上記会場にて開催を予定しております。役員一同知恵を絞って工夫を重ね、皆さまによるこんで頂ける会を計画しているところです。

関西在住の皆様、年に一度の同窓会で、青春の思い出を語り合いませんか。フレッシュマンの皆さんは、是非誘いあつてご参加下さい。心よりお待ちしております。

中京同窓会



中京同窓会
会長 惇
坂本 (高8)

ご挨拶

同窓会の皆様には、益々ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

中京同窓会は、昨年11月9日、名古屋千種区のルブラ王山で開催され、会員ら四十数名に参加頂きました。

山口本部同窓会会長より新任の挨拶とご祝辞、福島学校長より母校の生徒達の海外研修・交流等グローバルな活躍、「七高から世界へ」が紹介されました。

懇親会では、恒例のカラオケ、お楽しみ抽選会で盛り上がり、旧交を温め歓談の輪を広げ、友好と親睦を深めました。今年、中京同窓会は、第30回の記念大会を迎えます。役員・世話人一同は早々に準備に入ります。多数の同窓生が参加されますこと願っております。



お楽しみ抽選会の様子

金沢地区合同同窓会



金沢地区合同同窓会
会長 基
高澤 (高17)

ご挨拶

この度、金沢地区合同同窓会の会長を拝命しました。同窓生の皆様には宜しくお願い申し上げます。

昨年11月22日(金)、金沢市内のホテルで、会員ら100人が集まり、恒例の同窓会が開かれ、不肖私が杉本勇壽氏(高3)会長職を引き継ぎました。

当日は本部同窓会から大林前会長、山口会長、6人の役員その他、福島学校長、関東の木下様、関西の勘山様、中京の坂本様の各地区同窓会会長にもご臨席いただきました。

冒頭に、私から「生まれ育ったところがふるさとなら、父と母は子供にとって永遠のふるさと。一緒に勉学に励んだ母校もふるさと。同窓会にはふるさとに帰る気持ちで、ご参加下さい。」と申し上げます。最後に私も舞台の真ん中でマイクを握り、校歌、平常歌を熱唱しました。

中能登同窓会



中能登同窓会
会長 武司
今井 (高13)

ご挨拶

昨年5月、設立後6回目の同窓会が、中能登町の料亭「かめや」で開催されました。

出席者は過去最多の95名を数え、課題であった女性の参加者も17名と最多でした。

宮本哲夫(高12)議長の下、議案も原案通り承認され、中能登町長杉本栄蔵様より祝辞を賜りました。

懇親会に移り、本部同窓会長大林重治様からご挨拶を頂き、続いて新任の福島則明校長から華々しい生徒たちの活躍が紹介されました。

ここで、4月に開校となった、新生中能登中学校初代校長に就任された袋井貞司様(高25)から、文武両道の名門校にするとの強い決意が示されました。その後、本部特別顧問の佐原吉博様の発声で乾杯し開宴となりました。

同窓生による踊りは、中能登ならではの「中能登音頭」で始まり、定番の「七尾まだら」「やっとな節」と続き、会場を盛り上げます。

世代を超えた交流も、名残が尽きない中、山田省悟県議(高18)の万歳三唱で、来年の再会を誓い合いました。

志賀町同窓会



志賀町同窓会
会長 一夫
林 (高20)

ご挨拶

3月22日、浅井本部同窓会副会長をはじめ、内田副会長、今村監事、所司監事、津田議長、福島学校長、事務局の樋上様のご臨席をいただき、七尾高校志賀町同窓会が開催されました。

開会に際し、浅井副会長、福島学校長から、本部同窓会や学校の現状についてご紹介いただき、同窓生や後輩の皆さんの活躍ぶりをお聞きました。

今村監事の乾杯が始まった懇親会では、学校生活や下宿での思い出、先生方の話題に花が咲き、校歌・平常歌の合唱では、一気に当時の記憶が蘇ってきました。

各年代を代表してのスピーチでは、5名の皆さんに当時の思い出や母校への思いなどを語っていただき、笑いが絶えないひと時を過ごしました。

今後も同窓の和が広がるよう様々な事業に取り組み、多くの皆様とお会いし、旧交を温めることを楽しみにしています。

輪 島 市 同 窓 会



輪 島 市 同 窓 会 会 長 小 山 桂 一 (高 15)

ご 挨拶

七尾高等学校輪島市同窓会第2回役員会を1月24日に10名の参加の下、開催しました。小山会長の「今年も役員一同が元気で本会を運営できますように」との挨拶に続き、毎田事務局より、第1回役員会以降の経過説明がありました。

大下副会長の乾杯で懇親会が始まり、杯を交わす毎に声のテンションが上がりました。

そして、久保幹事の締めで閉会となりました。

地区としての活動が役員会等の開催中心になっており、今後、一人でも多くの会員へ参加を呼びかけ、輪を広げていく必要があると感じています。

【文責 村元 悟 (高24)】

平成26年度 行事計画

平成26年

7月 第1回役員会 事業企画会議

9月 七高本部同窓会 役員等の参加

平成27年

1月 第2回役員会 総会について協議

3月 総会・懇親会

穴 水 町 同 窓 会



穴 水 町 同 窓 会 会 長 北 川 浩 文 (高 24)

ご 挨拶

穴水町同窓会総会および懇親会が平成25年8月24日(土)穴水町「キャッスル真名井」において、大林本部同窓会長、福島学校長をはじめ、本部役員、事務局の先生方をお迎えして開催されました。

総会では、北川会長の挨拶、大林本部会長の挨拶、次に福島学校長が「文系フロンティアコース」について等、七尾高校の現況について詳しく話されました。その後、会計より平成24年度事業報告および会計報告が行われ、懇親会へと続きました。

懇親会では、年代を越え、恩師の話、校舎の話など懐かしい話題で大いに盛り上がり、盛会裡のうちに閉会しました。

あつという間の時間でしたが、旧交を温める大変良い機会だったと思います。同窓生の皆様とはまた会えることを心待ちにして、報告とさせていただきます。

【文責 林 要 (高29)】

羽 咋 宝 達 志 水 地 区 同 窓 会



羽 咋 宝 達 志 水 地 区 同 窓 会 会 長 櫻 木 博 (高 7)

ご 挨拶

昨年10月27日(日)2回目の同窓会が休暇村能登千里浜で開催されました。

総会では、事業報告、会計報告に続き、地区同窓会の会則の改正が行われ、顧問を置くことと役員の任期は次期総会まで、が新たに付け加えられました。役員改選では、新会長に櫻木博氏が、顧問には前会長の小幡秀治氏が承認されました。

懇親会では、参加者全員の思い出のスピーチがあり当時の七高にタイムスリップしたようでした。また、役員の仏像彫刻の展示や太極拳、マジック、ビンゴゲームもあり楽しいひとときを過ごしました。

【文責 山本 まり子 (高21)】

20 歳 の 声

「関東同窓会に参加して」

北口 智啓 (高64)

関東同窓会には、関東に住居する七尾高校卒業生が集まるため、同級生や先生方と再会し、昔を懐かしむだけでなく、大学生が普段接しないような方々とも交流でき、また、同じ七尾高校出身であるという関係から交流しやすかったので、有意義な時間を過ごすことができました。私の学年は参加者が少なめですが、大学生は安く参加することができるので、これからはより多くの大学生に同窓会に参加してほしいと感じました。

「関西同窓会に出席して」

工口 千賀子 (高64)

学び舎は今も心に：七高を卒業してから早二年。再び同窓会の季節がやってきます。今年も少し足を延ばして行こうかな。そこには多くの七高生がいる。青春を共に生きた仲間たちが、喜んでくれる友や手を握ってくれる先輩、恩師が。そんな思いが桜の咲く季節とともに毎年心に響いてくるからです。

それ以上に、遠く離れたこの街で頑張っている自分の姿を見てもらいたいのかもしれない、慣れない土地で疲弊しきった自分を地元の愛でいっぱい満たしてほしいのかもしれないです。行くときはどんよりした曇り空でしたが、帰りは満天の星空が迎えに来てくれました。





安部龍太郎氏〔著書「等伯」・直木賞作家〕の講演会



リードにあわせて校歌斉唱 2



新入会員の紹介



成長した生徒達の再会に喜ぶ恩師



高14期生に古稀（数え年70歳）のお祝い



こんなに多くの同窓生に会えるよ！

関
東
同
窓
会

平成25年6月22日(土)

地区同窓会活動状況



高14期生へ古希お祝いの品を贈呈しました



校歌をバックに



会場は同窓生でいっぱいになりました

関
西
同
窓
会

平成25年5月19日(日)



別室でも楽しい話声が聞こえてきます



能登の物産即売会は大人気



新入会員より自己紹介

暮らし新鮮



イキイキ笑顔

<http://www.dontaku.co.jp>

中 京 同 窓 会

平成 25 年 11 月 9 日 (土)



古稀祝い(高14回生5名)へ坂本会長より祝辞



全員で平常歌斉唱



女性参加者全員で合唱“いい日旅立ち”



初参加の二人(右より3・4人目)を囲んで



全員で校歌斉唱



先輩の話に耳をかたむける初参加の高65期生



同窓会デビューの高65期生。

平成 25 年 11 月 22 日 (金)

金 沢 地 区 合 同 同 窓 会



力強い旗さばきと共に校歌斉唱



新しく任命された副会長の紹介



長年会長を務められた杉本勇壽氏(高3)へ感謝状が贈られました



校旗のリードで校歌斉唱



故郷での活躍が頼もしいです



全員で記念撮影

平成 26 年 3 月 22 日 (土)

志 賀 町 同 窓 会

中能登同窓会

平成25年5月26日(日)



過去最多参加者数で会場はにぎやかになりました



来賓祝辞
七尾高校同窓会
会長 大林重治氏 (高13)



来賓祝辞
中能登町長
杉本栄蔵氏



同窓生による「中能登音頭」



女性の参加者も増えました



楽しく腕を組んで校歌斉唱



役員会開催(平成26年1月24日)



記念撮影



奥能登の美味しい料理で会話も弾みます

平成25年6月9日(日)

輪島市同窓会



皆様のご健勝を祝して万歳三唱



いよいよ懇親会の始まりです



総会の様子

平成25年8月24日(土)

穴水町同窓会



同窓生の指導の下太極拳を体験



参加者皆様で記念撮影



当時の思い出を語ります

平成25年10月27日(日)

羽咋宝達志水町同窓会

地区同窓会役員一覽

関東同窓会

- 会長 木下 嘉平 (高15)
- 顧問 谷口 守正 (高2)
- 三浦 孝明 (高3)
- 相談役 石橋徳之助 (高3)
- 津田 兵衛 (高3)
- 副会長 中村 一夫 (中46)
- 寺崎 米嗣 (高14)
- 半田 哲也 (高16)
- 幹事長兼務 小塚 正人 (高16)
- 北村 清年 (高21)
- 西尾 肇 (高18)
- 副幹事長 榎 和久 (高18)
- 松本美紀子 (高21)
- 杉原 栄一 (高24)
- 津田 米 (高25)
- 竹内 淳一 (高25)
- 岡部志津子 (高15)
- 田中 敏雄 (高8)
- 名簿管理&事務担当 多根 隆一 (高29)

関西同窓会

- 会長 勘山 悟 (高9)
- 副会長 大西 良子 (高9)
- 野村 治雄 (高10)
- 岩尾 初子 (高13)
- 辻口 信良 (高18)
- 青野 外秀 (高19)
- 幹事長 上林正一郎 (高20)
- 副幹事長 榎本彌一郎 (高7)
- 佐原 康望 (高10)
- 山田 祥子 (高13)
- 企画・広報 安井 直美 (高31)
- 甘田 外成 (高13)
- 中島 幸代 (高21)
- 木村 迪子 (高13)
- 近江 隆司 (高14)
- 山崎 静子 (女) (高32)
- 田中 啓三 (中47)
- 藤岡 哲夫 (高4)
- 大島 弘子 (高4)
- 高澤 信雄 (高6)

中京同窓会

- 会長兼事務局 坂本 惇 (高8)
- 副会長 柴田 宗治 (高17)
- 荒木 郁子 (高14)
- 高山 博之 (高24)
- 川尻 稔 (高29)

金沢地区合同同窓会

- 会長 高澤 基 (高17)
- 副会長 大路 孝之 (高21)
- 中村 幸伸 (高22)
- 稲葉 良二 (高23)

中能登同窓会

- 会長 今井 武司 (高13)
- 代表顧問 稲葉 健 (中48)
- 副会長 戸部 信六 (高9)
- 新屋 春雄 (高14)
- 金森 幹子 (高14)
- 太田 光子 (高15)
- 長谷川恵美子 (高18)
- 谷内 洋介 (高15)
- 池田 信明 (高4)
- 藤本 昌平 (高6)
- 島田 博文 (高16)

輪島市同窓会

- 会長 小山 桂一 (高15)
- 副会長 山下 泰宏 (高18)
- 代表幹事 山岸 満 (高19)
- 幹事 廣江 雄幸 (高23)
- 久保 敬夫 (高14)
- 今寺 研治 (高19)
- 坂口 茂 (高27)
- 松原 完也 (高29)
- 相神 淳也 (高37)
- 今寺 伸子 (高19)
- 村元 悟 (高24)
- 每田 隆 (高26)



For pleasure
~最高の笑顔と共に~
株式会社 相互移動通信

代表取締役社長
池崎 正典 (高27回卒)

〒921-8027 石川県金沢市神田2-2-29 相互神田ビル
TEL:076-280-0303(代) FAX:076-280-0536
URL:http://www.sougo-idou.co.jp



小山経営開発研究所
小山行政書士事務所
石川南スーダン友好協会

経営コンサルタント
(中小企業診断士)
行政書士

こやま ただし
小山 正志 (高5回卒)

TEL 076-285-0828 FAX 076-285-1966
〒929-1105 石川県かほく市横山リ2番地15



写をたてて
なく顔も
あつめます

写をかたむ
けて顔に
あります

あい ゆう 写真工房

志賀町同窓会

会 長 林 一夫 (高20)

〒925-0213 羽咋郡志賀町館開ノ27
☎0767-37-1436

副会長 中谷 喜彦 (高16)

上野ますみ (高20)

坂本 衛 (高22)

代表幹事 荒川 仁 (高33)

稲岡 保男 (高19)

能登 正人 (高19)

稲岡 孝幸 (高21)

酒谷 正人 (高26)

板尾 信子 (高27)

前田 郁代 (高30)

牧出 浩美 (高31)

作田 利昭 (高32)

盛本 浩志 (高32)

脇本 浩伸 (高37)

四蔵 勇一 (高38)

辻口 郁雄 (高41)

福島 朋尚 (高44)

古屋 紗弓 (高59)

藤田 隆司 (高47)

稲岡健太郎 (高48)

舟山 慎吾 (高56)

山口 繁樹 (高18)

池田 孝詞 (高19)

石田弥寿雄 (中44)

青山 源隆 (高20)

穴水町同窓会

会 長 北川 浩文 (高24)

〒927-0026 鳳珠郡穴水町大町い-17
☎0768-52-3555

副会長 蔵瀬 助定 (高9)

曾良 昌嗣 (高16)

摩郷 則雄 (高16)

宮下源一郎 (高18)

大中 正司 (高18)

副会長 高木 作之 (高30)

七海 友也 (高35)

世話人 江戸 伸一 (高26)

浜 照美 (高27)

林 要 (高29)

不二井悟史 (高30)

法岡 敬人 (高31)

船本 正美 (高35)

木下 浩一 (高37)

松村 正人 (高39)

摩郷 修 (高45)

永田 恵理 (高52)

長尾 武志 (高52)

会計監査 谷内 和雄 (高18)

新本美恵子 (高13)

代表幹事 盛 徹 (高20)

〒927-0042 鳳珠郡穴水町宇留地タ-46
☎0768-52-0262

能登町・珠州市同窓会

会 長 福池 正人 (高17)

〒928-0331 鳳珠郡能登町字柳田仁部72-2
☎0768-76-1200

副会長 中平 義則 (高16)

干場 実 (高19)

田中 博之 (高33)

事務局 端 正 (高21)

〒928-0301 鳳珠郡能登町上長尾ル部12
☎0768-76-0271

羽咋宝達志水地区同窓会

会 長 櫻木 博 (高7)

〒925-0014 羽咋市釜屋町中80の13
☎0767-22-1820

顧問 小幡 秀治 (高8)

副会長 中村 真敏 (高18)

赤池 礼子 (高19)

代表幹事 鶴浦 雅志 (高22)

田村 敏博 (高23)

幹事 平場美美代 (高18)

浜田 良男 (高21)

清水 久範 (高21)

釜谷美智子 (高24)

岡田 規子 (高24)

飯川 能彦 (高25)

佐藤さな江 (高30)

新屋真奈美 (高33)

山本まり子 (高21)

安達 清子 (高21)

事務局 尾崎真裕美 (高31)

作品募集

第20回七高同窓

美術会展に出品しよう!!

会期 9月20日(土)～

23日(火・祝)

会場 フォーラム七尾

(パトリア4F)

主催 七尾高校同窓美術会

共催 七尾高校同窓会

募集部門 絵画・工芸・書・写真

昨年の第19回展には80点(一般60点、在校生20点)が出品され、3日間で600人以上のご参観をいただき誠にありがとうございました。

第20回記念といたしまして特別賞・秀作・佳作などを企画しましたので、会員の皆様のご出品をお待ちしておりますので奮ってご参加ください。

会長 木本 峰生(高6)

問合せ

☎0767-52-4011
木本 峰生まで

洋子AK美2展

高21期 洋子二人の作品展
“洋子A(新井)…書道”
“洋子K(薦田)…絵画”

コーヒーでも飲みながら気軽に見てください♪

と き:平成26年8月13日(水)～30日(土)
と ころ:七尾市検物町57-5 ☎0767(57)5460
カフェ「カントリーロード」
マスター:竹田伸一郎(高21期)

Miyako 音楽堂

代表取締役

久保 聡 (高27回)

株式会社 ミヤコ

〒926-0021 石川県七尾市本府中町八部 30-1
Tel:0767-53-0001(代) Fax:0767-53-1902
URL:http://www.ongakudo.co.jp
E-mail:miyako@ongakudo.co.jp

SONY・Panasonic・YAMAHA 特約店

祝 叙 勲

叙勲を心よりお祝い申し上げますとともに今後益々の活躍を祈念申し上げます。

平成25年4月13日付
瑞宝单光章
中村 純一 (高11) 七尾市

平成25年4月29日付
旭日中绶章
西野 善雄 (併1) 東京都

旭日双光章
神戸 宏和 (高8) 七尾市

瑞宝双光章
立川 涉 (高11) 七尾市

平成25年10月12日付
瑞宝双光章
原田 洋夫 (高13) 白山市

※同期、知人で叙勲の栄に浴された方をここに存知でしたら、ご紹介ください。

平成26年 七尾高等学校同窓会役員

- 顧問 圓山 義一 (中38) 飯田 桂一 (中40) 堀 昭七郎 (高3) 佐原 吉博 (高7) 大林 重治 (高13)
- 会長 山口 成俊 (高26)
- 名誉会長 福島 則明
- 副会長 山本みおの (女31) 横山 文男 (高8) 浅井 忠夫 (高15) 大岩 為一 (高17) 魚岸志乃富 (高23) 久保 聡 (高27) 内田 幸子 (高32) 佐原 博之 (高33) 前山 英規 (高39)
- 議長 津田 文雄 (高20)
- 副議長 田中 道夫 (高23)
- 監事 今村 七郎 (高13) 西村由紀子 (高14) 所司 久雄 (高20)
- 理事 橋本 佐輔 (中40) 古川 正弘 (中42) 鷹合 敏範 (中43)
- 守友 宗次 (中44) 田中 三郎 (中46) 谷 為之 (中46) 後藤 由雄 (中47) 稲葉 健 (中48) 森本 静 (女15) 佐々波清子 (女19) 伊藤 和嘉 (女22) 橋本 君子 (女22) 垣内 外美 (女28) 半浦 和恵 (女31) 村守 絹子 (高1) 木下 成一 (高2) 長澤 秀子 (女35) 前川 貞夫 (高3) 桜井 洋子 (高3) 寺岡 順治 (高4) 大場 悟 (高4) 春成 泰 (高5) 新城 久代 (高5) 木本 峰生 (高6) 飯田 悦子 (高6) 大井 悦夫 (高7) 久保美津子 (高7) 横山 文男 (高8) 宮本 博子 (高8) 米岡 完二 (高9) 沢田美津子 (高9) 佐藤 一郎 (高10) 直木 慶子 (高10) 西村 邦夫 (高11) 元橋 範子 (高11) 坂井 輝夫 (高12) 高田久美子 (高12) 今村 七郎 (高13) 小林智恵子 (高13) 濱 暉元 (高14) 西村由紀子 (高14) 谷内 洋介 (高15)
- 太田 光子 (高15) 島山 彦一 (高16) 石島 瑛子 (高16) 大岩 為一 (高17) 坂野 葉子 (高17) 橋屋 愈 (高18) 國分 恵子 (高18) 浅野 栄二 (高19) 森山 典子 (高19) 濱 昇一 (高20) 東条 厚子 (高20) 作田 厚子 (高21) 伊藤 厚子 (高21) 小間 敏秀 (高22) 登美 鈴恵 (高22) 田治 吉彦 (高23) 魚岸志乃富 (高23) 若林 高明 (高24) 脇坂 雅子 (高24) 中川 秀平 (高25) 熊谷 京子 (高25) 丹保 甚逸 (高26) 森 佳津代 (高26) 小塚雄一郎 (高27) 今井 一美 (高27) 岡部 孝博 (高28) 小山 順子 (高28) 横山 忠篤 (高29) 清水 桂 (高29) 緩水 剛 (高30) 山内 克彦 (高30) 滝野 満 (高31) 碓川 直子 (高31) 長田 浩信 (高32) 竹 外喜子 (高32) 木下 義隆 (高33) 道下 雅美 (高33) 横山 茂弘 (高34) 池田 弘子 (高34)
- 上谷 正人 (高35) 山崎 香織 (高35) 福山 秀幸 (高36) 浦上 智美 (高36) 浅野 恵三 (高37) 窪 きよ美 (高37) 青木 信幸 (高38) 沢井 有里 (高38) 松崎 健 (高39) 土倉 雅世 (高39) 政浦 芳典 (高40) 岡島 佳子 (高40) 一瀬 久芳 (高42) 大家真紀子 (高42)
- 評議員 甲 政夫 (中33) 坂井 溥 (中40) 永源 功 (中41) 年代 重雄 (中43) 大窪 英治 (中44) 長峰 和人 (中46) 戸潤 秋郎 (中47) 岸 あや子 (女22) 藤本 季子 (女23) 真館 静代 (女25) 小山満智子 (女28) 原 春枝 (女30) 野村幸治郎 (高2) 杉藤 茂 (高3) 木下 俊政 (高4) 佐野 藤造 (高5) 村田 修一 (高6) 大橋 覚 (高7) 堀岡 啓吾 (高8) 清水美栄子 (高9) 乙谷 晶子 (高10) 姥浦 昭二 (高11) 草間 哲男 (高12)
- 堀岡 敏幸 (高13) 上村 秀実 (高14) 橋本 秀和 (高15) 宮崎 光男 (高16) 原 新一 (高17) 山本 益夫 (高18) 福井 清久 (高19) 津野 文雄 (高20) 菅野 広士 (高21) 尾古 真一 (高22) 田中 道夫 (高23) 戸田 一明 (高24) 多田 朗 (高25) 坂井 正弘 (高26) 坂村 正悦 (高27) 西村 博史 (高28) 坂本 明義 (高29) 久保 潔 (高30) 中山 修 (高31) 宮下 修 (高32) 大谷しず香 (高33) 松井 敏史 (高33) 杉本 欣一 (高35) 種谷 多聞 (高36) 在澤 潤 (高37) 古川 宏幸 (高38) 小山 裕二 (高39) 松田 直樹 (高40) 伊藤 隆行 (高42) 高橋 正浩 (高45)
- 事務局 副校長 稲葉 幹雄 教頭 山口 和人 (高31) 事務局長 (会計) 大谷 孝和 (高27) 藤澤 恒 (高41) 青木 信幸 (高38) 山本 幸平 (高58) 谷内真喜子 (事務)

ご寄贈 (平成25年4月～26年3月)

- 菅原 邦夫様 (中46) 電子掲示板
- 深井 人詩様 (高5) 渡辺 美好「杉森久英：人物書誌学」(日外アソシエーツ) 自著「深井人詩 書誌選集I：渡辺美好編」(金沢文圃閣) 「七つ尾第31号(年1冊)」(七尾城址文化事業団) 自著「大学の発想転換：体験的イノベーション論25年」(東信堂) 含み9冊 自著「芭蕉：日本人のこころの言葉」(創元社) 自著「続 三井 修歌集：現代短歌文庫」(砂子屋書房) 自著「歌集 海図」(KADOKAWA) 自著「鏡花利生記：泉鏡花と関東大震災」(山越) 「緋文字：古典新訳文庫」(光文社) 含み9冊
- 坂井 重遠様 (高8)
- 坂本 和一様 (高10)
- 田中 善信様 (高10)
- 三井 修様 (高19)
- 出崎 哲弥様 (高35)
- 中町 俊伸様 (高35)



期別同窓会開催のご報告

【中40期】

中四十期歌『有終写真の歌』

坂井 溥

- (一) 昭和の十二春四月
制服制帽颯爽と
能州健児の百余名
七中生徒となりけり
- (二) 一年七月日支事変
雪中夜行軍羽咋まで
二年の半ば四十周年
記念の美展に弁論会
- (三) 三年西洋史苦勞する
生理衛生に点をあげ
甚五郎先生着任に
英語の時間首すくむ



【中42期】

古川 正弘

- (四) 四年で甲種乙種に
英数國漢中心に
五年師走の夷弾射
その日開戦大東亜戦
- (五) 高井、浅見、福森君
長尾、飯田、堂谷内君
浅井、橋本、辻田君
坂井幹事で有終会

戦時色一色の七中時代

私の七中時代は、旧セメント工場跡地でのグライダー訓練、国分射撃場での実弾射撃訓練等戦時色一色でした。

私は87歳、同級生が40名も他界しました。

特に海軍予科練出身者で2名が太平洋戦争で戦死しました。

供養とは人と共に仏様に手をあわせて食事をする事との事です。

私は近くにある七尾城ゆかりの地藏さんに毎日手をあわせ、同級生の冥福を祈っています。

【中44期】

平成25年7月16日(火)

第3回寿楽会

守友 宗次

寿楽会として再出発した我等が

七中44回生同窓会も、今回で3回目を迎えた。

後期高齢者と呼ばれる仲間9名の出席(うち県外3名)を得たことは心強い限り。

敗戦の色濃くなった昭和19年、当時中学4年生だった我々は、夏休みより当時の七尾セメント会社へ学徒勤労動員生として出勤。しかも、4年繰り上げ卒業の宣告。夜勤もあり、当時の事などを語り合いながら飲みかわす。最後は、高田久昭君と大窪英治君の二人の七高応援団の旗にあわせての平常歌で締めくくる。意気軒昂。

なお、次回の開催予定日をできるだけ早く知らせて欲しいとの要望があったので配慮したい。健康とご多幸を祈るや切。

【中45・46期】

二十五年度同窓会を終えて

高木 正治(中46)

平成21年9月21日、傘寿記念の同窓会が23名の出席で行われた。この会が一つの区切りと思い、幹事提案で終わりにしようと思ったが一蹴された。丁度ニュースでオリンピックが7年後にあたることに結びつき、7年後までやるんだ！4年毎が2年毎に、傘寿後は毎年に。米寿までか白寿までか…。私の資料(出席者数)では、

- 21年度、23名
- 22年度、20名
- 23年度、16名
- 24年度、17名
- 25年度、14名

出席数の下向が止まることを祈りつつ。

【高3期・併中1】

平成25年6月5日(水)

和倉温泉「ホテル海望」

中能登町面授会

前川 貞夫

中能登地区(鹿島、鳥屋、鹿西)の三町で一年毎に事務局を代わりながらやってきたが、指導もあり、来年度から旧鹿西町が事務局を担当することになった。今後共よろしく願います。



平成25年6月27日(木)
和倉温泉「ホテル海望」

親睦会

堀 昭七郎

一昨年の傘寿同窓会を終え、同窓会から有志による親睦会に移行して2回目を迎えた。予想を超える36名が集まり、愉快な一夜を過ごした。

会場は談論風発、楽しい会話がはずんだ。喜色満面、喜びに満ちあふれていた。ホールにおける2次会も会話と歌で盛り上がり、深夜11時に及んだ。

反面八十路に入り、出席できない

い会員もかなりの数にのぼり、沢山のコメントが寄せられた。「七尾が忘れられません。」「何時も感謝。出席できなくて残念。」「永年の友情有難う。」「同窓の絆が偲ばれます。」

「楽しかった。来年も是非出席したい。」との声をうけ、26年は5月2日(金)に開催する予定です。



平成25年11月29日(金)
和倉温泉「ホテル海望」

七鹿同志忘年会

前川 貞夫

七尾・鹿島の新旧役員の忘年会。来年度のスケジュールを確認しての宴会であった。

【高5期】

平成25年8月23日(金)
和倉温泉「のと楽」

五期生(五五会)

「処暑」の集い
春成 泰



8月23日、「処暑」の日を選び暑気払いの集いを催しました。

熱暑対策に万全の対策を講じ、例年になく極暑を乗り越えた25名の雄志、かつ有志が和倉の湯宿の一夜を雅び楽しみました。

参加者全員、精気を回復し、翌朝、軽快な足取りで、近い再会を

誓い合って家路につきました。一人ひとりの笑顔には、新涼を予感させる薫風が微かに漂っているようでした。

【高7期】

平成25年5月1日(水)
和倉温泉「のと楽」

喜寿記念同窓会

佐原 吉博

高七期の七七会は、従来から「少なくとも喜寿まではがんばろう」を合い言葉に、互いに励まし活動



してきました。

いよいよ喜寿を迎え、全国から元氣印の男子34名、女子26名、計60名が集結し、恩師宮田一男、清水正雄の両先生にもご臨席頂き、互いの息災を祝いながら、大変盛り上がった記念同窓会になりました。

今後も節目毎に開催することにし、母校の創立120周年参加も目指すことになりました。

記念写真は演壇の大きさの関係で、西・下り・東、上りと地区ごとに撮影しました。

【高10期】

平成25年3月12日(火)13日(水)
福井県小浜市 23名

実年修学旅行特番「カニ&ぶぐ旅行」

松浦 正武

この一泊二日の旅は、同級生の福井市内に住む坊守の島津道子さんのお誘いがあった、急に実施にこぎつけたものである。

まず七尾、中能登から多数がバスを乗り継いで、金沢駅で7人、福井で2人が乗車して全員揃った。東尋坊では好天気で海辺の絶景が眺められ、カニを主とした昼食にもありついた。次に坊守をしている島津さんの光福寺で物故者全員の法要を営み、夕方遅くぶぐの民宿の阿納の「ひろた」に到着した。夕食の一人前のぶぐ料理の数々は、数人で食べられるくらいの量で、特に花弁のように大皿に並べられた刺身は絶品であって、皆満足した。

朝ドラの「ちりとてちん」の舞台となった三丁町界隈は散策に値する所で、目新しいのは「人の駅」というのが所々に設けられていたことであった。鯖街道資料館は形ばかりで少々幻滅した。名刹の神宮寺と明通寺は古色蒼然で、記念写真を撮るにぴったりの場所であった。

帰途の国道27号線を通つての美浜町の千鳥苑は、別名五木茶屋と



高10期

も呼ばれ、歌手の五木ひろしの故郷に因んでいろいろなお土産が並べられ売られていた。その後、小説「等伯」に出てくる氣比神宮にやって来たが、その大鳥居は重要文化財で見たえがあった。以上短いバス旅行であったが、いろいろの経験、見学して楽しい思い出となった。

平成25年10月8日(火)～11日(金)
山陰の名湯と観光地巡り 17名

第3回現地集合型実年修学旅行

濱田 陸子

「継続は力なり」ではないが、

ずっと国内旅行を同級生と続けることは健康の元であり、長寿の秘訣ではないかと考えている。

第一日目、初めの足立美術館は、10年連続庭園日本一と名画のドッキングで見えたえがあった。夜の玉造温泉では温泉のすばらしさのほか、芸芸館でのドジョウすくいショーもあり退屈しなかった。

第二日目、世界遺産の石見銀山は、雨の中、自然を守るための数キロメートルをウォーキングして大変であったが、当時(江戸時代)世界に名をとどろかせたこともあって、石工の匠の技が光り輝くとともにその苦勞がしのばれた。次の60年ぶりの大遷宮の年を迎えている出雲大社は、独特の拝礼の仕方とともに古式ゆかしい伝統の重みを感じた。続いて薄暮の中、境港の水木しげるロードの散策は、短時間ながら彼の町興しに対する思いが感じられるとともに、道の両側にゲゲゲの鬼太郎像をはじめ153体のブロンズ像が建てられているのには驚いた。夜泊まった皆生温泉は大きなホテルにしても満室で、山陰では人気抜群のようである。

第三日目、三仏寺の投入堂は最近脚光を浴びている観光地だが、その受付で私達の年齢と服装から入山することを断られて、残念ながら幻に終わった。鳥取砂丘に来ると、リフトが設置されていてすぐ砂丘を一望することが出来た。

しかしラクダが2、3頭観光客を乗せていたのには、少々興ざめの気がした。続いて道の駅「あまるべ」へ立ち寄ったところ、ここは昭和61年に強風にあおられて列車転落するという大惨事になったことが思い出され、慰霊の観音像が安置されていたので心こめてお参りした。夜は今だに昔を伝えている城崎温泉泊りで、全員外湯めぐりを楽しんだ。

第四日目、日本のマチュピチュと言われている竹田城は、ひどい降雨の中数キロメートルを登山して頂上に立ち、石垣の算木積みを目の当たりにした。最後に、出石の皿そばを満喫した後、日本最古の時計塔の辰鼓楼や沢庵和尚の宗鏡寺などを見て回った。

少々今回の旅は年齢からすれば無理なようであったが、それだけ豊富な観光と体験の旅であったので、疲れも吹き飛んだようであった。

少々今回の旅は年齢からすれば無理なようであったが、それだけ豊富な観光と体験の旅であったので、疲れも吹き飛んだようであった。



高10期

【高13期 よるまい会】

2月第1金曜日(28名集合)

四年後H30・喜寿(77歳)期別全国大会を決定

恒例十三回生「よるまい会」(七尾幹事会)：大阪、名古屋勢集結。新理事今村七郎・理事小林智恵子・評議員堀岡敏幸の新体制発進。大



高13期

阪は甘田外成・清水弥寿男、名古屋から佐藤武男・加賀康平そして富山の太橋雅広、金沢から江成洋子・西島樹雄が馳せ参じた。特記に能登島半田繁臣・田鶴浜直江克彦復帰盛り上がる。七尾商工会議所会頭大林重治能登浮上発進。畠山和子・森谷清子・古田敏子・橋本勇剛・古川邦男・山元広隆・藤沢勝・有江武・外谷與生・高山豊・永井進・原栄一・大場豊治・中浜耕平

※今井武司と浅瀬英和インフルダウン※十三回応援団いざ舞わんかな、狂わんかな。

最後に大橋ドクター1集団検診、全員以上なし太鼓判で散会。全国の十三回生へ：来年二月第一金集合厳守。※連絡先

ABCホリオカ
堀岡敏幸
090-3297-8760
〔文責 こうへい〕



高14期

【高14期】
平成25年8月12日(月)
和倉温泉「加賀屋」

待ちに待った古稀同窓会
 西村 由紀子

男30名、女32名、計62名の古稀の会は、新顔もまじえ懐かしい友との再会で幸せな時をすごすこと

が出来ました。

古稀を迎えた仲間達の話はつきず、カラオケタイムもそつちのけでした。紫のチャンチャンコを応援旗に見立てた元応援団長の宮崎幹事長とリーダー達のユーモアあふれる姿も様になり、全員の心が一つになりました。就寝前に一部屋あけて、勝田満さんの点でたお茶を頂き、各々華やぐ、心をおさえ、ホッと一息つきました。

翌日、次回再会を期して、お互いの元気パワーをもらって帰路につきました。

【高16期】
平成25年10月11日(金)
和倉温泉「ホテル海望」

卒業50年記念同窓会
 畠山 彦一

七尾高校卒業50年記念同窓会と銘打ち4年ぶりの同窓会の開催です。

遠く仙台、千葉等駆けつけた54名が集いました。

既に卒業生の一割強が亡くなっていることを偲び故人へ黙祷を捧げての同窓会となりました。宴が始まり、半世紀の思い出話に花が咲き、卒業アルバムの50年前の姿と一致しました。

岸先生から教えていただいたという「なぎなた演武」、朗々と吟ずる「九月十三夜」も飛び出し、

3時間の宴は「平常歌」「校歌」で見事な締めとなりました。二次会、三次会と日をまたいで続けられた半世紀の出会いの同窓会でした。



高16期



平成26年4月9日の河津桜
 ～平成22年12月 高6期生植樹木～

【高17期】

平成25年11月10日(日)
神戸大学東京六甲クラブ(東京都千代田区)

17回生関東同期会
 大岩 為一

自然発生的にできた同期会も、遂に10回目。

毎年少ない少ないと言われ続けていた女性は今回多数出席し、大いに盛り上げて戴きありがとうございました。例年通り大阪からは藤重さん、初出席は島谷さん定塚さん高橋静代さんです。

欠席の布さんはカンパが届き、原さん差入れの「香箱蟹」を「まいな」と貪り、楽しい一日になりました。11月10日、いつもの会場にて開催。39名の参加者でした。



第10回 七尾高校17回生 関東地区同期会 記念写真
 日時：平成25年11月10日(日) 於：神戸大学東京六甲クラブ(帝國劇場ビル地下2F)
 <出席者氏名：39名>
 5列：中島嘉平、下川順三、奥田哲文、高田博之、高橋新三、林延敏、宮本忠之、松平哲行、納谷榮夫
 4列：藤野真智子、茶本隆夫、沢井成美、大林謙三、岡野祐夫
 3列：島谷幹子、高橋静代、田中裕子、鎌倉奈代、清水和子、安中妙子、広瀬了子、室村、眞枝啓造
 2列：堀島恵子、堀島美枝、川賀幸夫、田根美子、藤重良美、岡島光子、李新一、定塚昌一
 1列：大岩為一、瀧山順子、三谷史生、武元克巳、三宅広人、伊豆亮衛、堂口真真夫



大澤光子

幹事の挨拶・乾杯となり、今回は、各自の近況報告を少なめに、懇談を主にしました。時を忘れて話に夢中になりました。故郷の話題、現在の健康状態そして懐かしい高校時代の話題になります。最後は、平常歌・校歌と続き一次会終了。二次会のカラオケでは、自慢のどを披露しました。次回は11月9日(日)同じ時間同じ場所での再会を確認して閉会。(一部幹事報告抜粋)

【高22期】

平成25年9月22日(日)

ホットで活気ある同窓会でした

登美 鈴恵

久々に出席した同窓会、私は母家に戻ったように感じました。先輩の方々は、兄姉のように温かく接してください、後輩の方々は、弟妹のように思えました。同期の方とは、直ぐに意気投合で楽しい一時を過ごさせてもらいました。私達、22期生は6人の参加でしたので、今年はもつと多くの方々とお話が出来れば幸いです。

同窓会とは、お互いにエールを交換し合う絶好の機会だと思いますので、26年度はさらに盛大に行われますようお願いいたします。



【高34期】

平成26年1月4日(土)

和倉温泉「あえの風」

第1回同期会開催

横山 茂弘

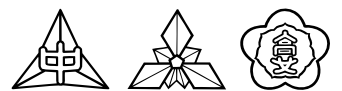
卒業後32年を経過して初めての同期会であり、深夜まで語り明かす実に楽しい宴となりました。52名が参加し、

酌み交わすにつれて当時のことがあれこれ思い出されます。三十数年の歳月を飛び越し、限らない活力をもたらした気分でした。5年後あたりに第2回を開催できればと思います。

案内の送付に際して同窓会事務局より宛名ラベルをご提供いただき大変ありがとうございました。どうもありがとうございました。



高34期



【高62期】

平成25年12月30日(月)

卒業後、初めての同窓会

藤澤 知佳

ですが、また再開する日までお互いに切磋琢磨していきましょう。これを機に、この代の関東同窓会や関西同窓会といった地域ごとの同窓会への参加が少しでも盛んになれば幸いです。

七尾高校を卒業して以来、同級生との4年ぶりの再会となりました。今回は、年末帰省をしている方が多かったこともあり、男女合わせて103名の方が参加されました。私に他幹事として協力してくださった6人の方、そして参加してくださった皆様に心から感謝申し上げます。

春から、新社会人となられる方が多いため、この人数が集まれる機会は当分ないように思われますが、今回の開催を受け、今後も定期的に開催していきたいと考えております。春から新しい土地・環境で頑張る方、石川県へUターンされる方、引き続き学業やお仕事に専念される方、様々だと思います。



高62期

【群馬県】

平成25年10月20日(日)
暢神荘(群馬県高崎市)

高崎市内の料亭で「群馬県在住の七尾高校同窓会」を開催しました。その昔「お江戸見たけりや高崎田町」と詠われた時代に創業した老舗で、大きな日本庭園の孔雀と白鳥が私たちを出迎えてくれました。

4回目ともなるとメンバーの顔ぶれも定着し「お久しぶり！元気そうでなりよりです。」という挨拶が始まりました。70代後半でも現役で働いている先輩、福祉関係のボランティアで活躍している先輩、資格試験に挑戦している方など活き活きとしています。能登を離れて何十年経つても、いつも故郷のことが気がかりです。テレビのニュースや天気予報を見てもいついつい石川県はどうかしら？統計の数字とか順位が発表されると群馬県の次に石川県はどうかしらと気になります。例えば石川県の学力検査の結果が上位にランクされると自分までが優秀であるかのように錯覚してしまいます。「早く

北陸新幹線ができてほしいね。」とか能登の話題は尽きません。

毎回七尾の和菓子を提供してくださるS先輩、また能登の地酒を振る舞ってくれたI先輩ありがとうございました。能登のまろやかな味を満喫しました。

今回は世界遺産登録を目指す「富岡製糸場」を訪れたいと思っています。多数の参加をお待ちしています。

事務担当：新井 洋子(高21)



平成26年 期別同窓会開催のご案内

【中45・46期】

- 日時 平成26年9月21日(日)
- 幹事 高木正治

【高3期・併中1期】

- 全体親睦会
- 日時 平成26年5月2日(金)
- 場所 和倉温泉「ホテル海望」

中能登町面授会

- 日時 平成26年6月上旬
- 場所 和倉温泉(旅館未定)

七鹿同志忘年会

- 日時 平成26年11月下旬
- 場所 和倉温泉「ホテル海望」

【高10期】

第14回実年修学旅行

- 日時 平成26年5月22日(木)～26日(月)
- 行き先 台湾の台北・中国の香港
- マカオ (小松空港発着)
- 連絡先 第10期生旅行会事務局 松浦正武

Tel 0767(53)0472

【高11期】

- 日時 平成26年6月18日(水)～19日(木)
- 場所 箱根湯本温泉「ホテルおかだ」
- 連絡先 代表幹事 橋本斉
- Tel 03(3315)7457

※七尾、金沢は大型バスをチャーターします。

【高15期】

- 古稀記念同窓会
- 日時 平成26年10月14日(火)
- 会場 和倉温泉「ホテルのと楽」
- 連絡先 大岡裕保
- Tel 076(213)8178

【高17期】

- 全体同窓会
- 日時 平成26年8月2日(土) 13時より
- 会場 ANAクラウンプラザホテル金沢
- 〔JR金沢駅東口徒歩1分〕
- Tel 076(224)6111
- 事務局 大岩為一

17回生関東同期会

- 日時 平成26年11月9日(日) 11時30分より
- 会場 神戸大学東京六甲クラブ
- 〔東京都有楽町 帝国劇場ビル地下2階〕

※会費は例年通り一次会費・二次会費
世話人代表 武元和己、堂口真喜夫
三谷史生、三宅広人

【高36期】

- 日時 平成26年8月16日(土)
- 会場 未定
- 代表幹事 木下徳康

※詳細は後日連絡します。

のと共栄信用金庫理事長

大林 重治氏（高13）インタビュー

昨年8月の理事・評議員会にて役員改選が行われ、新役員が選任されました。山口会長にバトンタッチをされて、顧問に就任されました大林重治氏に高校時代の思い出や、同窓会への思いを語っていただきました。



【略歴】
 昭和36年3月 石川県立七尾高等学校卒業
 昭和36年3月 能登信用金庫入庫
 平成11年6月 能登信用金庫理事長 就任
 平成15年11月 のと共栄信用金庫理事長 就任
 平成21年10月 石川県人事委員会委員 就任
 平成22年6月 石川県信用金庫協会会長 就任
 平成24年6月 一般社団法人北陸地区信用金庫協会会長 就任
 平成24年6月 一般社団法人全国信用金庫協会副会長 就任
 平成25年11月 七尾商工会議所会頭 就任

高校時代の思い出

高校時代は剣道部に所属しておりました。顧問は榎木慶雄先生で生活指導も担当しており、本当に厳しくご指導していただきました。寒稽古などたいへん苦しいものですが青春の1ページとして心に残っています。

それから、高校時代といえば、進路のことではないかと悩みました。七尾高校に入学したからには是非とも大学に進みたいと考えて、入学後も勉強していたのですが、私は中学2年生のとき

に父を亡くしてしまいましたので、残念ながら進学を断念せざるを得なくなりました。3年生のときは就職専門のEコースに入りましたが、それでもやっぱり、これでもいいのかと本当に悩みました。

苦悩の末に進学を諦めたことよって、七尾高校は私にとって最後の学校になったわけですが、このことよって私の七尾高校が一層大切なものになったのかもしれない。それから、高校を卒業して現在の職場を選んだおかげで、様々な人と出会って支えていただいたり、同じ職場にいた妻とも出会ったりすることができました。あの時の悩みや苦悩が今につながっているかと思うと、人生は不思議なものだと思います。

同窓会について

私も七十代となりましたので、同窓会にも若返りが必要と考え、今回山口さんにバトンタッチをすることにしました。後輩の皆さんのご活躍もありまして、私は七尾高校と関わりを持つこ



和やかな雰囲気の中インタビューさせていただきました

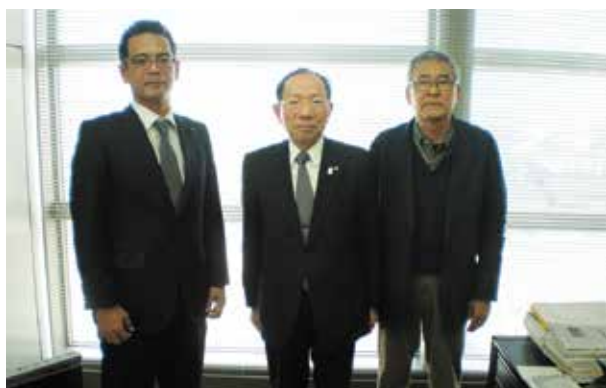
とができたことを本当に誇りに思います。このことは多くの同窓生のみならずも同じように感じていらっしゃると思います。在校生の方々も、特に卒業式などで拝見しますと、式典での様子が大変立派でありまして、これは先生方のご指導の賜物ではないかと思えます。こうした先生方の支えがあって、七尾高校や同窓会の伝統も守られていると、感謝しているところです。

これは、七尾高校の特に若い同窓生への希望というか、お願いになるんですが、是非とも七尾をはじめとした地元へ帰ってきて欲しい、あるいは遠くに行つて暮らすことになつても、ふるさとのことを大切にしてください。約2万5千人の七尾高校同窓会のネットワークはすごいものだと思います。能登は新幹線金沢開業や能越自動車道の開通によって交通

の便が良くなります。七尾を中心とする能登が活性化するために、是非とも同窓生の皆さんのお力添えをいただきたいなど、仕事柄考えております。

インタビューを終えて

大林氏には同窓会の話に始まり、等伯や七尾の経済など紙面に書ききれないほどたくさんのお話をさせていただきました。氏の柔らかい人柄が高校時代のご苦労から得た力強さに支えられていることや、ふるさとへの深い愛情から商工会議所会頭をはじめとした様々な役職を引き受けていらっしゃる事が分かりました。今後もお体に気をつけてご活躍していただきたいと思います。



大林重治氏とご一緒に

インタビューア—大岩為一（高17—右）と高橋正浩氏（高45—左）

大学合格者数

(平成25年3月現在)

【文系フロンティアコース (21H)】
10月にイギリスで
海外研修8日間



【文系フロンティアコース (21H)】
イギリスのGaynes Schoolの
生徒との合同授業



【スーパー・サイエンス・ハイスクール (26H理数科)】
7月にシンガポールで海外研修6日間

Table with 4 columns: 国立大学, 26年, 25年, 24年. Lists various national universities and their student counts over three years.

Table with 4 columns: 公立大学, 26年, 25年, 24年. Lists various public universities and their student counts over three years.

Table with 4 columns: 私立大学, 26年, 25年, 24年. Lists various private universities and their student counts over three years.

※同窓会では、海外研修の支援をしています。

平成25年度 各部大会成績

A large grid of text listing sports results for various departments (e.g., 陸上部, ソフトテニス部, バスケットボール部, バレーボール部, 空手道部, ボート部) across different schools and events.

PTA役員(案)

役職	氏名
会長	近藤和也(高44)
副会長	林田幸子
副会長	田畑嘉子(高32)
副会長	寺岡卓子
副会長	橋場幸雄
副会長	岡本勝(高35)
副会長	折坂久子(高42)
副会長	勝山一
副会長	木村尚登(高40)
副会長	名山智子
監事	萩野紀一郎
監事	木村静夫(高40)
監事	達秀敏(高32理)
会計	渡信一
相談役	中島登(高32理)
会計(事務長)	大谷孝和(高27)
書記(PTA係)	元平暢子(高37)
書記(PTA係)	青木信幸(高38)
書記(PTA係)	山本幸平(高58理)

平成26年5月 P T A 総会提出議案

母校は今!!



体操大会(平行棒)



県総体・総文社行式



文科大臣杯全国青年弁論大会



イングリッシュスピーチフェスティバル



賞典ケース



全国大会出場応援パネル



体育祭(棒倒し)

*同窓会では、応援パネル・賞典ケースなど、部活動の支援をしています。

- 卓球部**
男子団体 二回戦 七尾1-3 遊学館
個人シングルス 道端・中村 四回戦進出
ダブルス インターハイ・北信越大会出場
文原・中村 四回戦進出
- バドミントン部**
男子団体 一回戦 七尾0-3 金沢
個人シングルス 坂下 四回戦進出
女子団体 三回戦 七尾0-3 金沢桜丘
男子団体 三回戦 七尾0-3 金沢市工
個人ダブルス 坂下・宮村 四回戦進出
個人シングルス 松井・大岡 四回戦進出
女子団体 二回戦 七尾0-3 金沢商業
- サッカー部**
男子 三回戦 七尾0-4 金沢泉丘
全国高等学校サッカー選手権
女子 決勝トーナメント一回戦 七尾0-4 金沢一水
県新人大会 予選リーグ4位
- 柔道部**
県総体 二回戦 七尾2-3 金沢向陽
県新人大会 一回戦 七尾1-3 星稜
全国高等学校柔道選手権大会石川県大会 男子団体 一回戦敗退
- 剣道部**
県総体 二回戦 七尾0-3 羽咋
女子団体 二回戦 七尾1-1 津幡本数負け
県新人大会 北野 ベスト16
女子団体 一回戦 七尾0-2 金沢
個人 澤野 ベスト16
- 野球部**
第128回北信越地区高等学校野球石川県大会 準々決勝 七尾1-8 星稜
第95回全国高等学校野球選手権石川県大会 二回戦 七尾5-9 金沢市工
第129回北信越地区高等学校野球石川県大会 七尾2-5 金沢西
- 放送局**
第60回全国高校放送コンテスト石川県大会 朗読部門 櫻井 最優秀賞
NHK杯 全国高校放送コンテスト出場
NHK杯 優良賞
NHK杯 全国高校放送コンテスト出場
管 入選
NHK杯 全国高校放送コンテスト出場
松浦 入選
- 吹奏楽局**
第61回石川県吹奏楽コンクール B編成の部 銀賞
- 新聞局**
石川県高等学校新聞コンクール 総合 優秀賞
- 合唱部**
石川県合唱コンクール 銀賞
石川県高等学校音楽コンクール 長谷川 志茂 優良賞
古田 優良賞
- 写真部**
県総文美術展 写真部門 宮本 優良賞
- 弁論部**
第58回文部科学大臣杯全国青年弁論大会石川県予選会 優秀賞 嶋田
第58回文部科学大臣杯全国青年弁論大会 文部科学大臣賞 嶋田
第1回全国高等学校校旗弁論大会 個人の部 優秀賞 嶋田
第61回石川県高等学校「私達の主張」発表大会 優秀賞 嶋田
平成26年度全国総文出場決定 福沢諭吉記念第52回全国高等学校弁論大会 優秀賞 嶋田
- 郷土研究部**
石川県高等学校文化連盟郷土部会秋季研究発表会 優秀賞「石川の祭り」
- 美術部**
能登地区美術展 優良賞 久木
- 文芸部**
県高文連文芸主催「文学作品コンクール」 散文部門 優良賞 岩本
詩部門 優良賞 宮本
- 外国語研究部**
第33回コンクリッシュ・フェスティバル 第8回高文連英語部英語スピーチ大会 生長エスティバル賞
ドラマフェスティバル 個人賞 松本 最優秀女優賞
- 書道同好会**
能登地区美術展 最優秀賞 松本
優良賞 松本
- その他**
第59回青少年感想文コンクール県審査会 課題読書の部 最優秀賞 長谷川 県代表
第3回長谷川等伯絵画・感想文コンクール 絵画 高校生の部 藤原 最優秀賞
感想文 高校生の部 石崎 最優秀賞
松浦 入選
矢田・野見
- 朗読部門**
石川県高等学校放送コンテスト新人大会
アノウンス部門 松浦 優良賞
NHK杯 全国高校放送コンテスト出場
北信越大会出場
北信越大会出場
橋本 入選
北信越大会出場
- 吹奏楽局**
石川県吹奏楽コンクール B編成の部 銀賞
- 新聞局**
石川県高等学校新聞コンクール 総合 優秀賞
- 合唱部**
石川県合唱コンクール 銀賞
石川県高等学校音楽コンクール 長谷川 志茂 優良賞
古田 優良賞
- 写真部**
県総文美術展 写真部門 宮本 優良賞
- 弁論部**
第58回文部科学大臣杯全国青年弁論大会石川県予選会 優秀賞 嶋田
第58回文部科学大臣杯全国青年弁論大会 文部科学大臣賞 嶋田
第1回全国高等学校校旗弁論大会 個人の部 優秀賞 嶋田
第61回石川県高等学校「私達の主張」発表大会 優秀賞 嶋田
平成26年度全国総文出場決定 福沢諭吉記念第52回全国高等学校弁論大会 優秀賞 嶋田
- 郷土研究部**
石川県高等学校文化連盟郷土部会秋季研究発表会 優秀賞「石川の祭り」
- 美術部**
能登地区美術展 優良賞 久木
- 文芸部**
県高文連文芸主催「文学作品コンクール」 散文部門 優良賞 岩本
詩部門 優良賞 宮本
- 外国語研究部**
第33回コンクリッシュ・フェスティバル 第8回高文連英語部英語スピーチ大会 生長エスティバル賞
ドラマフェスティバル 個人賞 松本 最優秀女優賞
- 書道同好会**
能登地区美術展 最優秀賞 松本
優良賞 松本
- その他**
第59回青少年感想文コンクール県審査会 課題読書の部 最優秀賞 長谷川 県代表
第3回長谷川等伯絵画・感想文コンクール 絵画 高校生の部 藤原 最優秀賞
感想文 高校生の部 石崎 最優秀賞
松浦 入選
矢田・野見

同窓会会員名簿 (平成26年版) が発行されました



1冊 5,000円 (送料込) A4版

各期ごとの恩師の一覧や
思い出の写真が収録されています。

※購入をご希望される方は、同封の払込取扱票に必要事項をご記入の上、代金をお支払いください。
ご入金確認後郵送させていただきます。お問い合わせは、七尾高校同窓会事務局までお願いします。

26年度の同窓会開催予定

関西同窓会

日時 平成26年5月18日(日)

12時~15時

場所 関西文化サロン

(阪急ランドビル19階)

〒530-0017 大阪市北区角田町8-47

☎0663161577

会費 8000円

但し高54期~高64期生 4000円

高65期・高66期ご招待(無料)

関東同窓会

日時 平成26年6月28日(土)

12時15分~16時

場所 アルカディア市ヶ谷

(私学会館) 3F富士の間

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

☎03-3261-9921

運営協力金拠出のお願い

毎年、運営協力金に多大なご支援をいただき役員一同深く感謝申し上げます。今年も多数の皆様からの一層のご協力をお願い申し上げます。一口1,000円からお願い致します。なお、ご協力いただいた皆様のお名前を「同窓会だより」に掲載させていただいております。

平成26年度 七尾高校同窓会 理事・評議員会のご案内

- ・日時 8月24日(日) 9:30~
- ・場所 七尾高等学校大講義室

※詳細につきましては、各理事・評議員の皆様へ後日ご連絡いたします。

中京同窓会

日時 平成26年10月25日(土)

12時~15時

場所 ルブラ王山

〒464-0841 名古屋市中種区覚王山通8の18

☎052-762-3151

・地下鉄有楽町線・南北線
「市ヶ谷駅」A1-1出口
・地下鉄新宿線「市ヶ谷駅」
A1-1またはA4出口
・JR中央線(各駅停車)「市ヶ谷駅」
*上記各出口から徒歩約2分

会費 男性 10000円
女性 8000円

高校55期生以降の方 5000円

大学院生 5000円

学生 2000円

*お楽しみ抽選会開催(郷土産品を豪華品が当りませう)

中能登同窓会・総会

日時 平成26年5月25日(日)

午前11時

☎0767-77-1522

場所 料亭「かめや」

鹿島郡中能登町高島

会費 男性4000円

女性3000円

七尾高校同窓会総会・懇親会

日時 平成26年9月21日(日)

総会 午前11時より

懇親会 午後12時30分より

場所 和倉温泉「あえの風」

七尾市和倉町

☎0767-62-3333

金沢地区合同同窓会

輪島市同窓会

六水町同窓会

能登町・珠洲市同窓会

羽咋宝達志水地区同窓会

右記の地区同窓会につきましては決定次第、会員の皆様へご連絡致します。また、ホームページでもお知らせ致します。
※各地区同窓会の参加申込を七尾高校同窓会事務局でも受付しております。

編集後記

ようやく35号の発行となります。いつものことながら事務局担当の先生方に面倒ばかりかけています。今回は、各期の報告が少なくなりましたので、従来の冊子のようにになりました。毎年誌発行が出来るのも皆様のご援助のおかげです。これとは別に、新名簿が発行されました。また、購入を決めかねている方は、是非とも購入をお勧めします。ご協力をお願いします。同窓会誌編集員も新しいメンバーが入り、視点を変えた同窓会誌発行を目指します。会誌への要望をお待ちしております。

編集委員長 大岩 為一 (高17)